

学校だより

3つの「あ」×3つの「ことば」

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんだん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和7年11月7日発行

早いもので11月に入りました。最低気温も氷点下となる日があり、遠く日高の山々の頂も雪をいただき、冬の到来を感じるようになりました。路面状況の変化や体温調節などにも気を配りながら、これからの2学期の後半を有意義に過ごしていきたいと考えています。こうした中、おびひろ市民学をはじめ、地域の方々のお力添えをいただきながら、教育活動を進めてきました。今号では、写真を交えて子どもたちの様子をお伝えしていきます。

おびひろ市民学で子どもたちを支援していただいています

10月1日



3年生では、『豆腐マイスター』をお迎えして豆腐づくりにチャレンジしました。

うるかした大豆をミキサーにかけ、豆乳を作り、にがりを加えて、カップに入れて蒸したところでできあがり(左写真)。みんなでおいしくいただきました。

10月9日



4年生 帯広市清掃課の方々をお迎えして、ゴミの分別やりサイクルの大切さをわかりやすく教えていただきました。9月17日の郷土体験学習で『くりりんセンター』を訪問した際に学んだことと関連づけて学びを深めていました。

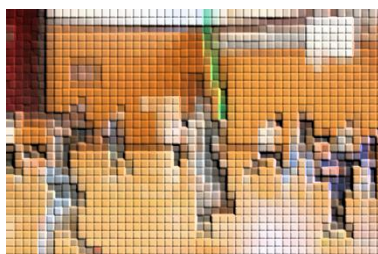
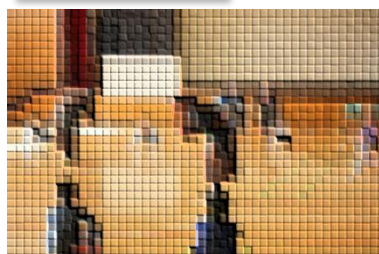
10月15日



5年生で、認知症サポーター養成講座を行いました。帯広市社会福祉協議会の方々を講師にお招きし、『認知症って何だろう？ 認知症の人と接するときは、どうしたらいいの？』をテーマにクイズや動画を交えてお話をさせていただきました。

2年生でバレエ出前授業を行いました。講師に、帯広でバレエ教室を主宰している〇〇さんをお招きして、『バレエ「気分はダンサー」』と題して、足の運び方や姿勢をきちんと保つことなど、普段あまり意識することのない動作を中心にバレエの基本を教わりました。緊張した面持ちの中にも楽しそうに取り組む子どもたちの姿がありました。

10月21日



4年生では、帯広カムイトウウポポ保存会の皆さんをお招きし、アイヌの人々の暮らしと文化について教えていただきました。アイヌの言葉やアイヌの舞踏体験を行いました。今後、社会科や総合的な学習の時間で、アイヌの人々の伝統的な文化や歴史についてさらに理解を深め、学習したことを『啓西子どもの日』などで発信して行く予定です。

10月23日・30日



今年度は帯広市教育委員会の主催する「スクールコラボ」の一環として体力向上に関わる取り組みを全校で進めました。講師に〇〇先生をお招きし、『楽しみながら体を動かす』をメインテーマにマット運動を行いました。子どもたちは、〇〇先生の動きを見よう見まねで楽しそうに繰り返していました。授業が終わる頃には、子どもたちの笑顔があふれていました。

5年生で、和太鼓体験教室を行いました。講師に帯広市郷土芸能平原太鼓の皆さんをお迎えしました。これは、『日本の伝統にふれよう』をテーマに、音楽の授業として実施しました。「ドーン」「ドーン」の響きを身体全体で感じながら、太鼓を打ち鳴らしていました。初めてバチを握る子もいて、力加減に難しさを感じながらも一生懸命に取り組む姿を目にすることができました。



10月29日

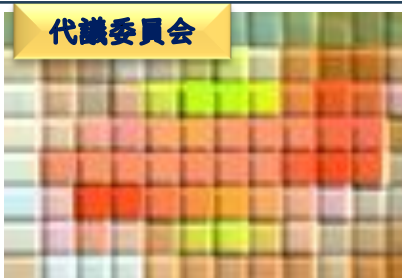


10月もたくさんの方々に支えていただいて、教育活動を進めることができました。本当にありがとうございました。

子どもたちが、自分たちで、よりよい学校生活を創造しています

～ 児童会の取り組みがOUTPUTで見える化されています ～

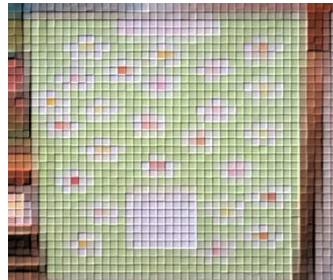
代議委員会



『学校探検ツアー』（PR動画）と題して、1～2年生向けに、特別教室の紹介動画を作成しました。もう啓西小学校に慣れてきて、入ったことのある教室もあるかと思いますが、ぜひ見てみてください。（1～2年生向けに作成しましたが、3年生以上の皆さんも見たいです。）

児童会事務局

『はなまる貯金』以前、紹介しましたが、子どもたちが日々の生活で、『はなまるなこと』（うれしかったことや助けてもらったことなど）があった時に、花卉一枚に自分の気持ちを綴っていきます。今では、ボードいっぱいになりました。



エコロジー委員会



『エコ川柳大会』では、日々の生活をエコなものにしていこうという思いを川柳に表しました。子ども目線で節電や節水、ゴミのポイ捨て、給食の残食などを見つめています。力作揃いです。

イベント委員会

『宝さがし』は、校舎内に隠した折り紙を見つけ出し、その数を学年ごとに集計していくイベントです。限られた時間の中で、探し出すのは難しそう。子どもたちはいきいきとチャレンジしていました。



今回、紹介したのは一例です。これからも児童会を中心とする子どもたちの取り組みが、とどまることはありません。

= 地域とともにある学校 = “異校種間連携”で子ども達を育みます

〇〇中と〇〇中が「一日先生」としてやってきました！

10月8日（水）に〇〇中学校の生徒4名が、10月21日（火）に〇〇中学校の生徒4名が、キャリア教育（職場訪問学習）の一環として来校しました。短い時間ではありましたが、「小学校の先生」という仕事を体験しました。最初は緊張の面持ちでしたが、学齢が近いこともあり、1・2年生の児童とうち解けていました。子ども達にとっては、“あこがれの中学生”。教職員にとりましては、本校から進学する近隣校の大切な生徒として大いに刺激を受けたひと時となりました。



1年生と朝顔の茎でリース作り



1年生の授業での関わり